



エルゴパックという梱包方法

エルゴパックは、梱包対象物の大小、幅、高さに関わらず安全・確実にバンド掛けをすることができます。梱包物がぐらついたり、横にずれたり、落下してバラバラになったりすることはありません。エルゴパックは、梱包物の安全輸送に大きく寄与します。

特許を取得しているチェーンランスを用いたこの梱包方法は、まったく独創的なものです。チェーンランスはバンドと一緒に梱包物の下を滑り出し、作業者にバンドを受け渡します。作業者が必要なのは、バンドを受け取りシーリングヘッドに挿入することだけです。あとは自動でバンドを引締め溶着し、そして梱包完了です！

手動でのバンド掛けは、作業者が最も頻繁にかがまなければならない作業の1つです。バンド1本につき2回かがみ、1回パレットの周りを歩く必要があります。一般的な梱包においてはバンドを2本使用しますので、つまり4回かがみ2回パレットの周りを歩いています。1日に50パレット分もの梱包をされている場合、200回かがみ、100回歩いており、つまり1週間では合計1,000回もかがむ必要があることとなります。

エルゴパックはこれらの煩わしさをすべて解消致します！



背の高い梱包対象物も、エルゴパックでバンド掛けが可能です。アタッチメントを装着すると、高さ3Mまで安全・確実にバンド掛けをします。

エルゴパック社の考え -エルゴノミー-

エルゴパック社の創設者、アンドレアス・キメレ氏は、「エルゴノミー」について熱心に語ります。「腰痛持ちになったために長期休職または退職せざるを得なくなったとすれば、それは多額の費用がかかり、会社にとって大損失です。それにも関わらず、多くの人々はまだこのことについて考慮しておりません。」

実際、頻繁にかがんだり身を低くしたまま歩いたりすることが原因の腰痛は、患う方が最も多い職業病だと考えられています。

エルゴパック社はずいぶん、バンド掛けによって患う腰痛を予防することに成功致しました。これに加え、他のアドバンテージも持ち合わせています。

アンドレアス・キメレ氏は少年時代、家業の木材業でパレット梱包の際に頻繁にかがむ必要があることに悩まれ、木材加工のエンジニアとして何か良い解決策はないかと模索していました。「専門家に話を持ちかけましたが、」とキメレ氏はこう続けます。「彼らは解決すべき課題を理解しようとはせず、巨大マシーンを紹介したり、単純に『バンドを棒の先に固定してバンド掛けをすればよい』と勧めたりするだけでした。」

このような経緯で、キメレ氏は自身で問題解決に着手し、1999年に初のバンド掛け機を発明しました。2002年には、ジュネーブでの国際発明展で金賞に加え、ドイツの発明賞を受賞し、エルゴパック社を設立致しました。

今日では8,500台以上ものエルゴパックが、35カ国から世界へ販売されています。エルゴパックの操作は簡単です。操作方法や取り扱い方法を納品の際に担当者がお客様にトレーニングをさせていただくことで、安心してお使いいただけます。エルゴパック一名前がすべてを表しています:エルゴノミックにパレットと梱包物を一緒にバンド掛けする。エルゴパックにより、かがむことはもう過去のものです！



エルゴパック納品時には、操作方法を作業担当者様に直接伝授させていただきます。



エルゴパックをパレットに載せた梱包対象物の前に移動させると



チェーンランスはバンドと一緒にパレットの下を通り



反対側より上昇し



梱包物の上部に現れ



作業者の手に収まります。



その後、チェーンランスは戻ります。



リフターがバンドの反対側の端を持ち上げ、



シーリングヘッドにより



バンドを確実に溶着します。



我々のノウハウやアドバイスをご活用ください。お電話でも納入時でも御社の作業担当者様に操作方法を伝授致します。我々は訓練を受けたエキスパートです。いつでもご遠慮なくお申し付け下さい。

・エルゴパックの創設者アンドレアスキメレ氏 (中央) による、エルゴパック デモチームへのトレーニングの様子。



「我々が製品を開発・製造し、傑出した品質をもって確実に全力でお客様をサポートすることを、私が保証致します。我が社の製品は、細部に至るまでエルゴノミックの原則に準拠しております。」

アンドレアス キメレ
エルゴパック 発明者・創設者・社長

連絡先

堀富商工株式会社
〒592-8335
大阪府堺市西区浜寺石津町東3-5-23

Tel.: 072 241 3821
Fax: 072 241 3822
info@ergopack.jp
www.ergopack.jp



オペレーターに優しい パレット結束 エルゴパック

